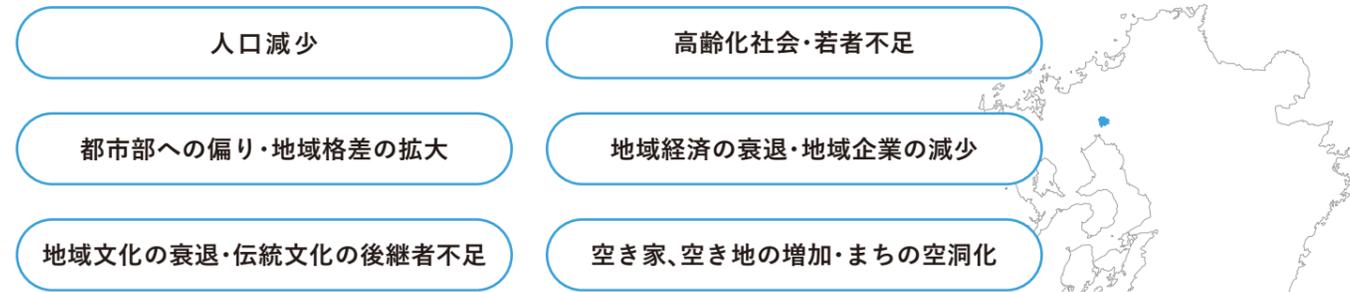


観光まちづくりの取り組み

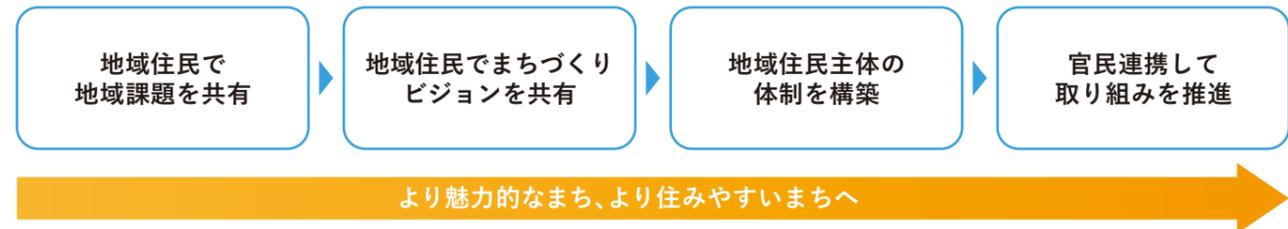
下記のような地域の課題への対策として、地域の魅力に光を当て、それらを地域外に発信することで、地域と地域外とを繋ぐ「観光」の取り組みと、地域住民とビジョンを共有し、地域一体となって課題解決を図る「まちづくり」の取り組み、これら2つの特性を併せ持った「観光まちづくり」の取り組みが、地域活性化・地方創生に繋がるものとして、近年注目を浴びています。



観光まちづくりのポイント①

地域一体となった取り組み

地域の魅力を高めるためには、地域が一体となって取り組むことが重要であり、そのためには、地域で暮らす住民が主役となり、地域住民を主体とした体制づくりが欠かせません。また、その取り組みを持続可能なものとするため、キーパーソンとなる地域プレイヤーを発掘・育成することが重要になります。



観光まちづくりのポイント②

「地域資源の活用」の取り組み

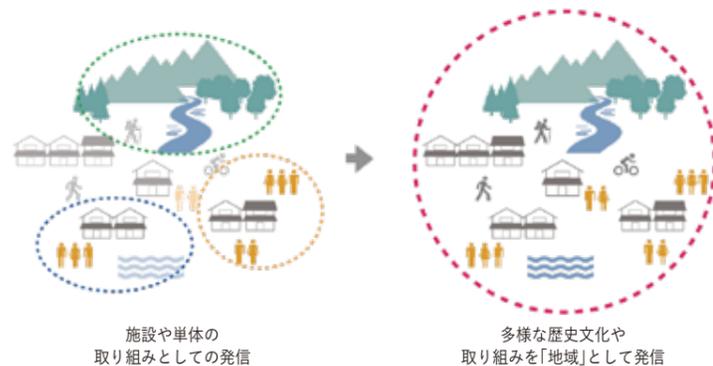
地域の自然や歴史文化など地域内での「当たり前」は、地域外からみて価値のある可能性が秘められており、それらを魅力あるものへと磨き上げ、活用する視点が重要です。また、その取り組みを持続可能なものとするため、事業性を考慮することも重要となります。



観光まちづくりのポイント③

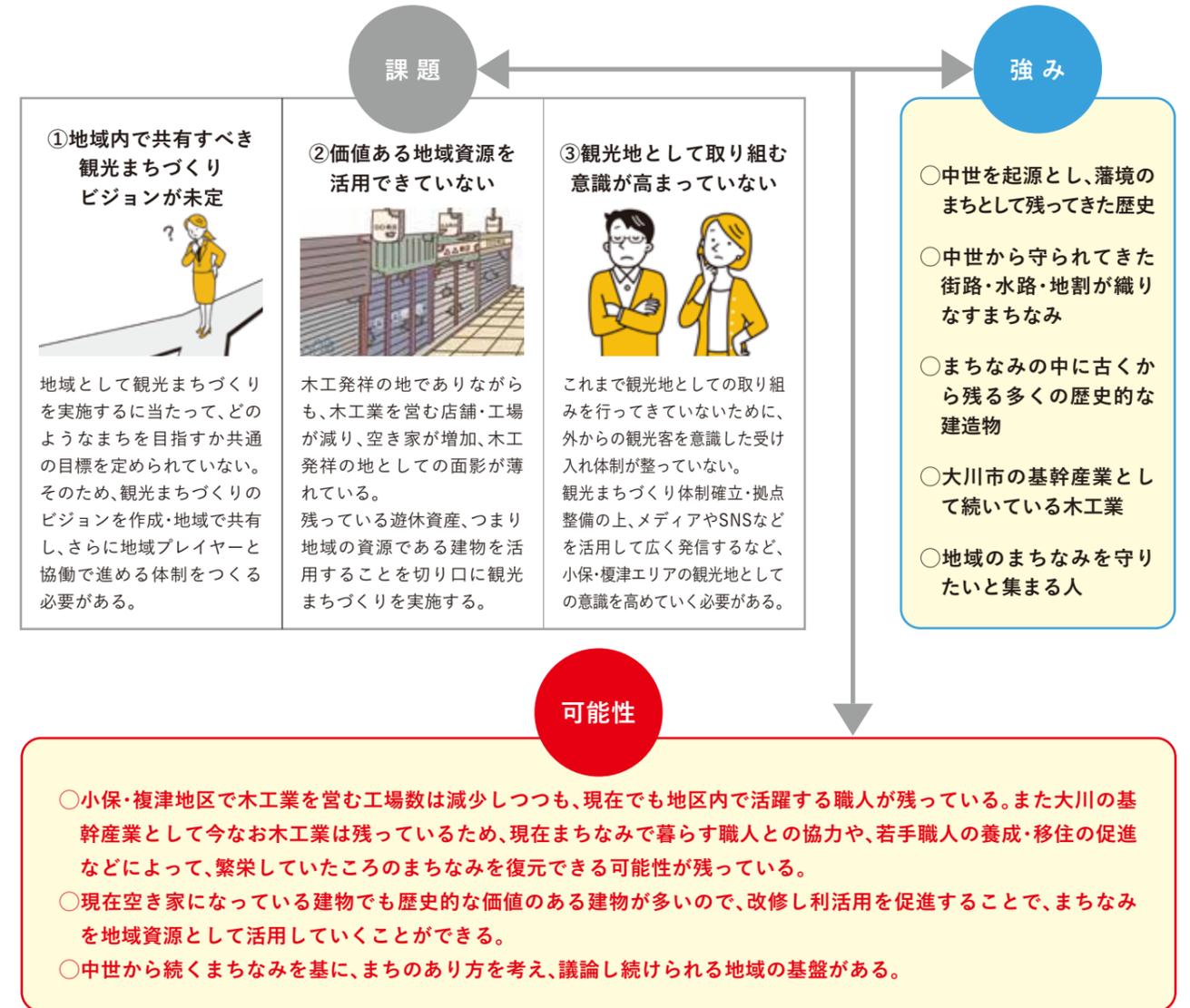
発信力の大きい「面的な展開」や「分散型滞在」の取り組み

洗い出し、磨き上げた地域資源を、多様な取り組みとして地域内に面的に展開し、魅力のある「地域」として発信することが重要です。取り組みの広がりが、人材の流入等を促し、更なる地域の活性化に繋がります。



小保・榎津地区における観光まちづくり

小保・榎津地区の観光まちづくりにおける課題・強み・可能性



観光まちづくりビジョン

小保・榎津地区が今後どのような地域を目指すのか、地域住民を対象としたワークショップを開催し、集めた意見をもとに右記のビジョンを掲げます。地域一体となって観光まちづくりを推進するため、地域で観光まちづくりビジョンを共有し、ビジョンを軸に今後観光まちづくりの取り組みを推進していきます。



つくるを継ぐ

船大工の歴史から始まる大川木工発祥の地 小保・榎津 中世の面影が残るまちなみや木工技術は、二つの異なる藩の歴史を経てもなお、この地域に息づいています。先人たちが積み重ねてきたまちの歴史や受け継がれるまちへの想いを、それらに共感し外から集まる人々と地域住民が共に協力し賑わいを創出し、次世代に継承していきます。